**『6 環境・エネルギー』**

(1)再生可能エネルギーの導入促進

【取組方針】

二酸化炭素の削減に有効な再生可能エネルギーの導入促進に向け、分散型エネルギーマネジメントの基盤を整え、あらゆる資源（ヒト・モノ・コト・情報・エネルギー）を有効活用することで、2050年の脱炭素社会の実現を目指します。また、再生可能エネルギーを活用した新たな公民連携の事例の創出や民間主導の自立的な取組の支援を行い、2030年に向けた脱炭素先行モデルを構築します。

【2030年の目標】

再生可能エネルギー導入量5倍

【具体のアクション】

○地域マイクログリッドを通じた先進技術の実装

○2030年脱炭素先行モデルの構築

(2)地域循環共生圏の構築と森づくり

【取組方針】

荒廃竹林や獣害などの環境課題の解決に向け、民主導の公民連携のもと、市民のみならず首都圏等から多くの方に関わっていただき、課題だったものが経済性を有する地域資源に転換し、環境保全活動の促進へとつながる循環の仕組みの構築を目指します。また、森や木に関わる産業の川上から川下までのネットワークを強化し、小学校をはじめとして市内外の様々な場所において、小田原産木材の利活用の促進を図るとともに、小田原の森で自然体験や森林教育を受ける機会を創出します。

【2030年の目標】

小田原の森里川海に触れる体験をした都市住民の割合 30％

【具体のアクション】

○環境保全活動に係るプラットフォーム機能の強化

○公民連携による環境課題への対応

○おだわら森林ビジョンに基づく施策の推進・森林整備

○小田原産木材の活用、森林環境教育・木育等